



2024スタート～できることを考え続けよう～

新しい1年がスタートしました。

皆さんあけましておめでとうございます。

年末年始、どのようにみんなは過ごしていたでしょうか。

すでに連日報道がされているように、石川県能登地方を中心とした大きな地震が元日に発生しました。

その後発生した津波や火災の映像を見た人も多かったと思います。

被災地では今も尚、避難生活が続いている人たちがいます。

そして、住み慣れた家を失ったり、大切な人を亡くした方々がいます。

離れて暮らしている我々にできることは多くありませんが、それでも少しでも気持ちや祈りを届けられたらと思っていますところ。

実は、私は1月2日に被災地に行ってきました。

行ったというより、助けに行ったという方が近いかもしれません。

ちょうどお正月の日、私の妹は羽咋市という石川県の沿岸部にいました。

旦那さんの実家が石川県であったため、帰省していたのです。

そこにまさかの大地震が発生しました。

実家は半壊になりました。

もう済むことはできないそうです。

私の妹は0歳児の赤ちゃんをはじめ3人の子どもを連れて避難することとなりました。

水や電気が止まっている中、赤ん坊を連れての避難生活はどれだけ大変なのだろうと正月の日は私はほとんど寝られませんでした。

翌2日。

愛知県からならば車で行けるのではないかと、途中の道路事情を確認し、現地に迎えに行っても大丈夫とのが分かったので、私は愛知県から車で石川県へと向かいました。

現地についてから最初に見たのは、ガソリンスタンドに給油を求めて並ぶ車の列でした。

何十台と並んでいるその様子は、北海道で震災を体験した時と全く同じでした。

そして、約5時間ほどかけて何とか妹家族が避難しているところに到着。

赤ちゃんたちを乗せて再び同じ時間をかけて愛知に戻ってきました。

こんな風にして過ごしたお正月は、人生で初めてのことでした。

大きな災害を経験する度に思います。

それは、当たり前のように過ごしている日常がどれほどありがたいことかということです。

今も被災地では必死の救援・復旧活動が続いています。

日常が戻ってくるまでには、まだ相当な時間がかかるでしょう。

だからこそ、自分にどんなことができるかを考えてみてほしいのです。

もちろん、遠く離れた場所で暮らす我々にできることは多くはありません。

けれども、考えたり案じたりする思いを届けることは誰にでもできます。

今朝の始業式。

学校全員で、被災地に祈りを届ける黙とうを行いました。

あの時、心の中でどんな思いを届けたのか。

そして、今の自分にどんなことができるだろうと考えたのか。

みんなの思いや考えを、ぜひまた教えてください。

私も、できることは何があるのか考え続けていきます。

そういえばとふと思い出しました。

第3クォーターで勉強した4象限の心の図。

ここにも、「考える」が入ります。

イライラしたりクヨクヨしたりネガティブな心の使い方ではなく、自分には関係ないと放り出したりするのもなく、今の自分にいったい何ができるだろうと前向きに考えを組み立てる心の使い方。

これが、「考える」という営みです。

考えることができれば、考え続けることができれば、きっといいアイディ

アや解決策が見えてきます。

第 4 クォーターも、様々な場面でこの「考える」ということを大切にしていってほしいと願っています。

	他責	自責
ネガティブ	悪いのは 他人 <small>悪癖</small>	悪いのは 自分 <small>悩む</small>
ポジティブ	だって自分の <small>放任</small> せいじゃないし	今の自分に <small>考える</small> 何ができるだろう

悩む (答えが出ない前提で考えるフリをする)
↓
考える (答えが出る前提で建設的に考えを組み合わせる)

そうそう、この冬休みには大変嬉しいニュースもありました。

以前担任していた教え子たちから連絡があり、同窓会が開かれたのです。

詳しくは教室で話しますが、二十歳になった教え子たちと久しぶりに過ごしたひとは本当に幸せな時間でした。

小学校での思い出話に花が咲き、最後にはなんと「先生、もう一回だけ授業が受けたいです！」とのリクエストも。

願いにこたえて授業をしてきたわけですが、途端に 8 年前の教室に戻ったような感覚になりました。

最後には、なんと教え子たちからプレゼントも貰いました。

一体何かを見てみると、なんと同窓会で撮ったばかりの写真を収めた置時計でした。

瞬時に現像を済ませ、プレゼントを渡せるようにと準備をしてくれていたのでしょう。

しかも、私が一番喜ぶポイントを完璧に押さえた贈り物でした。

成人を祝ってもらう方なのに、こんな風に人の幸せを思い人を喜ばせられる大人に育ってくれたことが私にとっては何よりのプレゼントとなりました。

4-1のみんなは、どんな大人になるのか、一層楽しみになった冬休みでした。



☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

